

「熟年離婚」もう一つの二〇〇七年問題

VOL.22

日本の離婚率（人口千人当たりの離婚件数）は、増加を続けてきました。特に、「熟年離婚（結婚生活二十年以上の夫婦の離婚）」の増加が問題とされています。

ところが、その離婚率が平成十四年以降、突如として減少し始めました。これが何を示すのか、いろいろな分析ができるでしょうが、平成十九年（二〇〇七年）四月から実施される離婚時の老齢厚生年金分割制度（離婚後に妻が夫の年金の一部を分割してもらえるという制度）を待っているのだという説があります。

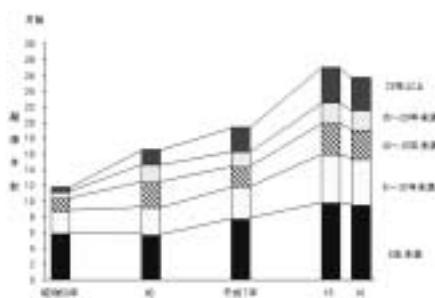
この制度の発表が、平成十五年六月であり、離婚数減少のスタートと時期が重なることが、その根拠とされています。「賢い」妻たちが、年金という経済的基盤ができるのを待ち、文字通り「金の切れ目が縁の切れ目」と言わんばかりに離婚に向けて走り出し、一気に

離婚率を押し上げるのではないかと危くされています。

二〇〇七年は団塊第一世代が定年を迎える年で、社会的に大きな問題とされています。この「熟年離婚」は、ちょうどこの時期に重なるわけで、「もう一つの二〇〇七年問題」といえます。

「人生八十年」といわれるわたしたちの社会。還暦・定年から二十年、第二の人生をどう生きるのか。パートナーとしてしっかり話し合い、互いに生き生きとした人生を楽しみたいですね。

同居期間別離婚件数の年次推移



教育夢 発信

泉西小学校附属幼稚園 共にわくわく

幼稚園の前の道に落ち葉などがたまり、「また汚くなってきたから、おそうじしなあかんね」と子どもたちが声をかけてくれます。泉西幼稚園では、昨年度から「小さなボランティア」として、園の周りの歩道清掃を行っています。「お母さん先生」にも協力していただき、清掃をした後の歩道は、とてもきれいになり、子どもたちの満足感も大きなものです。「小さなボランティア」に意義を感じている子どもたちとともに、今後も継続していきたいと思っています。

また、今年度この活動が、社団法人「小さな親切運動」県本部に認められ、表彰を受けました。子どもたちへの大きな褒美であり、励みにもなりました。



歩道清掃

園児たちとの活動に参加された「お母さん先生」から、大変うれしい言葉をかけていただいています。絵本

の読み聞かせに参加されたお母さんからは「きらきらした目が印象的でした」「読んだ後、ありがとうと言ってくれてうれしかった。また参加したい」などの感想が寄せられました。このほかにも、干し柿作りやキウイフルーツを使ったデザート作りなどもお母さん方が企画してくださり、楽しい時間を過ごすことができました。



読み聞かせ

そのほか、フォークダンス交流を七年間続けている「ハッスル会」、昔遊びを気長に教えてくださる「長寿会」や「ふれあいサロン」など、地域の先生方からは、「子どもたちから元気をもらっています」と喜びの声をいただいています。

親子と教師、そして地域の方々も共にわくわくしながら、生き生きと生活する中で、「心豊かで明るく強い子」の育成ができればと願っています。